

体験授業

平成29年3月25日(土)



**大学の講義を体験できるチャンス！
ぜひ聴いてみてください。**

跡見学園女子大学

文学部

<p>人文学科</p> <p>12:55~13:40</p> <p>3号館1階3155教室</p>	<p>「自由」と「勝手」の違い 教授 神山伸弘</p> <p>「自由にしなさい」という指示がされることがあります。そうすると、たいてい人は「勝手にしてよい」という理解に至ります。ところが、その通り勝手にしていると、「好き勝手するんじゃない」と叱られたりすることがあります。どうしてなのでしょうね。「好き」なことをするから叱られるのだとすれば、「嫌い」なことでもすればいいのかな…。しかし、「嫌い」なことをしたいとは思いませんよね…。じつに、この問題は、「自由」をめぐる深刻で大きな問題なのです。このことを考えてみましょう。</p>
<p>現代文化表現学科</p> <p>13:50~14:35</p> <p>3号館1階3155教室</p>	<p>ファッション誌の「おしゃれスナップ」の始まり 教授 富川淳子</p> <p>ファッション誌の人気特集「おしゃれスナップ」の歴史は1980年代前半に始まります。なぜ、その時代に「おしゃれスナップ」が生まれたのか？ これまで30年間も続いている理由は？ 「おしゃれスナップ」の撮影は原宿や渋谷ばかりで、どうして新座や茗荷谷でないのか？——こんな「おしゃれスナップ」をめぐる疑問を解き明かします。ファッションは文化であり、雑誌はその時代を映し出す資料としての価値があることを「おしゃれスナップ」から考えみましょう。</p>
<p>コミュニケーション文化学科</p> <p>11:20~12:05</p> <p>3号館1階3153教室</p>	<p>日本語と韓国語における敬語の使い方を比べてみよう！ 講師 吉田さち</p> <p>日本語と韓国語は、よく似た言語だと言われています。語順が同じ所、助詞(てにをは)がある所など、両言語には共通点が多くありますが、敬語もその一つです。韓国語にも日本語と同じように敬語があります。しかし、敬語の使い方のルールは日本語と異なる点があります。どんなルールが共通していて、どんなルールが異なるのでしょうか？ドラマの映像を見ながら実際に確かめてみましょう。お互いのルールを知っていると韓国人とのコミュニケーションに役立ちます。</p>
<p>臨床心理学科</p> <p>11:20~12:05</p> <p>3号館1階3155教室</p>	<p>「わかっているけど、できない」を「できる」にする工夫 教授 松寄くみ子</p> <p>自分のことは自分がよく知っている…とっていますが、思うとおりに行動できないのも事実です。体重を減らしたい…、貯金をしたい…、課題を早く提出したい…、など考えてはみるものの、うまくいかずに時が流れていってしまうことはよくあることです。もしくは、「なんとなく自分がいやだ」と感じていても、どうなりたいのかよくわかっていない場合もあります。今の状態、こうありたい状態を整理して、なりたい自分に少しでも近づくように自分の行動をコントロールする工夫について、行動の心理学のなかから考えます。</p>



マネジメント学部

マネジメント学科 12:55~13:40 3号館1階3156教室	自分の将来をマネジメントする。 教授 イシカワカズ
	自分の好きなことを仕事にするためには、大学でどんな勉強をし、4年間をどう過ごせばいいのだろう、がテーマです。長いようで短い4年間の中で、どうやって自分にふさわしい進路を見つけ、知識やスキルを獲得していけるのか。跡見女子大独自のアカデミックインターンシップの意味や多彩なゼミ活動を紹介しつつ、有意義な大学生活を送るための考え方と勉強法を講義します。

生活環境マネジメント学科 11:20~12:05 3号館1階3156教室	生活の中の“あたりまえ”を疑おう！ 講師 赤松瑞枝
	「あたりまえ」を疑うおもしろさに気付くこと、それが生活環境マネジメント学を学ぶ第一歩です。自分の生活を見渡して、なぜ？どうして？と疑問に思うことはありませんか。この授業では、その一例として日本の生活や文化の象徴とも言える箸に注目します。さまざまな種類の箸を使いながら、一番使いやすい箸はどれか探します。そしていつも使っている箸とどう違うか考え、「あたりまえ」を見直す面白さを体験しましょう。

観光コミュニティ学部

観光デザイン学科 13:50~14:35 3号館1階3156教室	ドアを開けてもらう人、ドアを開けてあげる人 ・・・・ホテルで働くということ 教授 松坂 健
	ホテルは様々な人間が行きかう場所です。男も女も、若いのも年老いたものも、ビジネスが成功するかどうかあせっている人、雰囲気を楽しみくつろぐ人。そんな人間たちが、ホテルという屋根の下に集まる。ホテルマン、ホテルウーマンはそういう人たちのために、みんなの幸せのために頑張る人たちです。この授業では、そういう100の扉があれば100のドラマがあるホテルというものが、どんなところなのか、ガイドしましょう。

コミュニティデザイン学科 12:55~13:40 3号館1階3153教室	日本の貧困、世界の貧困を考える 准教授 南里隆宏
	現在、日本では6人に1人の子どもが貧困状態にあると言われていています。世界的にみても、貧困は途上国だけの問題ではなく、先進国においても貧富の格差が年々広がっています。授業では、日本や世界の貧困に関する現状を「知る」機会を提供します。そのうえで、この問題を改善するために、何ができるのかを一緒に「考える」作業を行います。また、授業の後半では、フィリピンの貧困コミュニティを対象として、ゼミ生（3年生）が実施している取り組みを紹介します。

